

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年 3 月31日)	当第 1 四半期会計期間 (平成26年 6 月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	6,912	6,113
有価証券	101,245	104,625
有形固定資産	3,105	3,341
無形固定資産	8,283	8,495
その他資産	18,450	17,075
繰延税金資産	4,716	4,773
資産の部合計	142,714	144,425
負債の部		
保険契約準備金	110,741	113,233
支払備金	32,698	32,340
責任準備金	78,043	80,893
その他負債	8,543	6,235
未払法人税等	2,159	1,047
その他の負債	6,384	5,187
退職給付引当金	969	1,026
役員退職慰労引当金	22	24
賞与引当金	918	443
特別法上の準備金	101	106
価格変動準備金	101	106
負債の部合計	121,295	121,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	20,000	20,000
利益剰余金	△ 18,828	△ 16,990
株主資本合計	21,171	23,009
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	246	344
評価・換算差額等合計	246	344
純資産の部合計	21,418	23,354
負債及び純資産の部合計	142,714	144,425

四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
経常収益	23,091	24,115
保険引受収益	22,803	23,803
(うち正味収入保険料)	22,741	23,434
(うち積立保険料等運用益)	8	11
(うち支払備金戻入額)	52	357
資産運用収益	283	303
(うち利息及び配当金収入)	291	310
(うち有価証券売却益)	-	3
(うち積立保険料等運用益振替)	△ 8	△ 11
その他経常収益	4	8
経常費用	21,749	21,405
保険引受費用	16,730	16,050
(うち正味支払保険金)	11,745	11,170
(うち損害調査費)	1,490	1,656
(うち諸手数料及び集金費)	418	372
(うち責任準備金繰入額)	3,075	2,850
資産運用費用	1	0
(うち有価証券売却損)	-	0
営業費及び一般管理費	5,014	5,352
その他経常費用	3	2
経常利益	1,342	2,710
特別利益	-	-
特別損失	3	22
固定資産処分損	-	16
特別法上の準備金繰入額	3	5
価格変動準備金繰入額	3	5
税引前四半期純利益	1,338	2,687
法人税及び住民税	453	926
法人税等調整額	15	△ 92
法人税等合計	468	833
四半期純利益	869	1,853

当四半期の損益状況

(単位：百万円)

期 別		前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	比較増減	増減率
科 目					
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		22,420	23,117	696	3.1 %
(元受正味保険料)		(22,420)	(23,117)	(696)	(3.1)
経 損	保険引受収益	22,803	23,803	999	4.4
	(うち正味収入保険料)	(22,741)	(23,434)	(692)	(3.0)
	保険引受費用	16,730	16,050	△ 679	△ 4.1
	(うち正味支払保険金)	(11,745)	(11,170)	(△ 575)	(△ 4.9)
	(うち損害調査費)	(1,490)	(1,656)	(166)	(11.2)
	(うち諸手数料及び集金費)	(418)	(372)	(△ 45)	(△ 10.9)
	資産運用収益	283	303	20	7.2
	(うち利息及び配当金収入)	(291)	(310)	(18)	(6.4)
	(うち有価証券売却益)	(—)	(3)	(3)	(—)
	資産運用費用	1	0	△ 0	△ 99.7
(うち有価証券売却損)	(—)	(0)	(0)	(—)	
営業費及び一般管理費	5,014	5,352	337	6.7	
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(4,992)	(5,335)	(342)	(6.9)	
その他経常損益	1	6	4	250.6	
経常利益	1,342	2,710	1,367	101.9	
(保険引受利益)	(1,080)	(2,417)	(1,336)	(123.7)	
特別 損益	特別利益	—	—	—	—
	特別損失	3	22	18	470.9
	特別損益	△ 3	△ 22	△ 18	—
税引前四半期純利益		1,338	2,687	1,349	100.8
法人税及び住民税		453	926	473	104.3
法人税等調整額		15	△ 92	△ 108	△ 697.4
法人税等合計		468	833	364	77.8
四半期純利益		869	1,853	984	113.2
諸 比率	正味損害率	58.2%	54.7%	/	/
	正味事業費率	23.8%	24.4%	/	/

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。

2. 諸比率は次の算式によっております。

$$\text{正味損害率} = (\text{正味支払保険金} + \text{損害調査費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

$$\text{正味事業費率} = (\text{諸手数料及び集金費} + \text{保険引受に係る営業費及び一般管理費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		55	0.2	△ 13.2	62	0.3	13.2
海 上		—	—	—	—	—	—
傷 害		2,044	9.1	5.9	2,134	9.2	4.4
自 動 車		20,321	90.6	5.7	20,920	90.5	2.9
自動車損害賠償責任		—	—	—	—	—	—
合 計		22,420	100.0	5.7	23,117	100.0	3.1

正味収入保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		74	0.3	8.5	8	0.0	△ 88.4
海 上		44	0.2	3.1	50	0.2	13.5
傷 害		2,124	9.3	6.1	2,218	9.5	4.4
自 動 車		20,257	89.1	5.8	20,868	89.0	3.0
自動車損害賠償責任		241	1.1	10.8	289	1.2	19.9
合 計		22,741	100.0	5.9	23,434	100.0	3.0

正味支払保険金

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)		
		金 額	増減率	正 味 損害率	金 額	増減率	正 味 損害率
火 災		0	△ 63.1	3.6	1	1,311.8	68.6
海 上		32	△ 73.6	73.1	47	46.3	94.2
傷 害		463	△ 0.9	24.8	541	16.8	27.5
自 動 車		10,994	3.4	61.3	10,288	△ 6.4	56.9
自動車損害賠償責任		255	6.6	105.7	291	14.3	100.7
合 計		11,745	2.5	58.2	11,170	△ 4.9	54.7

単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	30,118	32,827
資本金又は基金等	21,171	23,009
価格変動準備金	101	106
危険準備金	73	75
異常危険準備金	8,451	9,188
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額 (税効果控除前)	320	447
土地の含み損益	-	-
払戻積立金超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2}+R_5+R_6$	11,416	11,525
一般保険リスク (R ₁)	10,386	10,388
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	-	-
予定利率リスク (R ₃)	77	79
資産運用リスク (R ₄)	662	715
経営管理リスク (R ₅)	353	357
巨大災害リスク (R ₆)	649	749
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	527.6 %	569.6 %

注. 「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条 (単体ソルベンシー・マージン) および第87条 (単体リスク) ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。

なお、当第1四半期会計期間(平成26年6月30日)の単体ソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの基礎数値の一部を前事業年度(平成26年3月31日)と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

<単体ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の見積を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の見積を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。
- ・「通常の見積を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ①保険引受上の危険 (一般保険リスク) (第三分野保険の保険リスク) : 保険事故の発生率等が通常の見積を超えることにより発生し得る危険 (巨大災害に係る危険を除く)
 - ②予定利率上の危険 (予定利率リスク) : 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 - ③資産運用上の危険 (資産運用リスク) : 保有する有価証券等の資産の価格が通常の見積を超えて変動することにより発生し得る危険等
 - ④経営管理上の危険 (経営管理リスク) : 業務の運営上通常の見積を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
 - ⑤巨大災害に係る危険 (巨大災害リスク) : 通常の見積を超える巨大災害 (関東大震災や伊勢湾台風相当) により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(単体ソルベンシー・マージン総額) とは、損害保険会社の純資産 (社外流出予定額等を除く)、諸準備金 (価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。